令和２年７月２８日
福岡地区水道企業団

市政記者　各位

五ケ山ダムに係る用水供給開始について

～夏に向けて、福岡都市圏で安心して使える水道水が増えます～

五ケ山ダムは、渇水や水害の被害を軽減し、福岡都市圏の安心・安全な生活を守ることを目的に、福岡県により建設されている多目的ダムです。

五ケ山ダムの現状につきましては、令和２年４月１９日に洪水時最高水位であるサーチャージ水位に到達し、現在はダム堤体などの安全性を確認しながら貯水位を規定の水位まで降下させているところであり、今後、検査・諸手続きを経て、ダムは正式に運用開始となります。

当企業団は、今回、新たに那珂川からの河川取水を開始する新規利水者であり、五ケ山ダムに係る用水供給を行えるのは、原則としてダムの正式運用開始後になります。

ただし、今後の降雨量が多かった場合、貯水位を降下させるのに相当の期間がかかることが見込まれることから、構成団体への用水供給を早期に開始するため、管理者である福岡県と協議を進めておりました。

このたび、県の承認が得られたことから、下記のとおりダムの正式な運用前に、用水供給を開始しますので、お知らせします。

この結果、水需要が増える夏季から構成団体への配分水量が増え、都市圏の皆様が安心して使用できる水道水が増えることとなります。

記

１　用水供給開始日

令和２年７月３０日

２　供給水量

日最大　１０，０００㎥

問い合わせ先
福岡地区水道企業団計画調整課長　樽井
TEL 092-552-1732

五ケ山ダムについて

1. 主な経緯

・S 54　　予備調査開始
・S 63　　建設事業採択
・H24.6　　ダム本体工事着手
・H28.1　　ダム本体コンクリート打設完了
・H28.10　　試験湛水開始
・H30. 3　　建設事業完了
・R2.4.19　　洪水時最高水位
　　（サーチャージ水位）到達
・R2. 7. 28 時点　試験湛水継続中

五ケ山ダム位置図

〔参考〕試験湛水

ダムの運用開始前に、洪水時最高水位であるサーチャージ水位まで水位を上昇させ、その後、規定の水位まで降下させ、ダムの堤体、取水設備やダム貯水池法面などの安全性を確認すること。

2. 五ケ山ダム開発水量の構成団体別配分水量

単位：㎥/日

構成団体	これまでの配分水量	今回供給開始で増える水量	計（7月30日以降）	増量率
福　岡　市	144,250	3,200	147,450	2%
大野城市	15,550	1,000	16,550	6%
筑紫野市	16,200	700	16,900	4%
太宰府市	10,900	900	11,800	8%
春日那珂川水道企業団	10,975	1,000	11,975	9%
古　賀　市	8,100	500	8,600	6%
宇　美　町	7,125	600	7,725	8%
志　免　町	6,000	300	6,300	5%
須　恵　町	4,675	200	4,875	4%
粕　屋　町	7,675	200	7,875	3%
篠　栗　町	4,400	300	4,700	7%
久　山　町	0	0	0	0%
新　宮　町	5,475	300	5,775	5%
宗像地区事務組合	2,400	0	2,400	0%
糸　島　市	14,375	800	15,175	6%
合計	258,100	10,000	268,100	4%

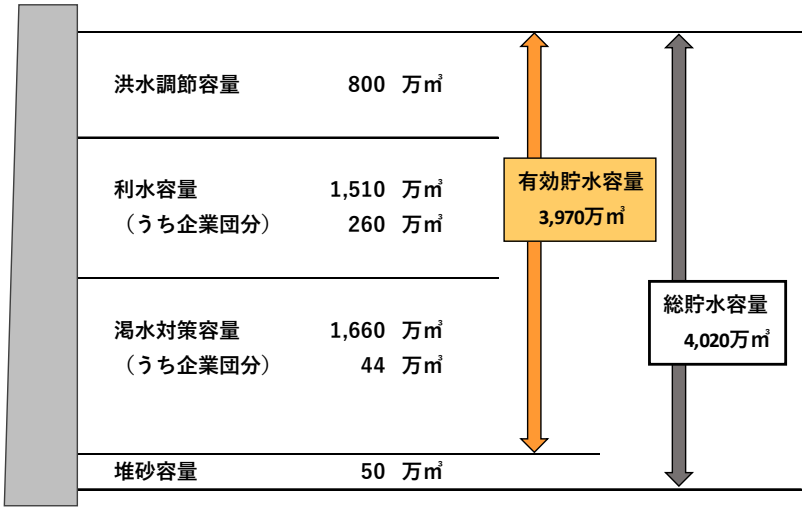
※上記配分水量は、期別の最大値を示す。

3. 五ケ山ダム概要

・県営多目的ダム

・目的：洪水調節，既得取水の安定化及び河川環境の保全，水道用水の確保，
　　異常渇水時の緊急補給

・貯水容量配分



4. 状況写真

（令和２年４月１９日撮影）

（令和２年６月１日撮影）

（令和２年４月１９日撮影）